

スモモ*1(果樹類、落葉果樹、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(日数)	使用回数	かいよみ病	ふくろみ病	黒斑病	灰星病	炭疽病	すす点病	環紋葉枯病	黒星病
I Cボルドー412FL	無機	M1		-	-	◎		◎					
Zボルドー水	無機	M1		*a	-			◎					
石灰硫黄合剤	無機	M2		-	-		◎						
アンビルFL	DM I	3		1	2				◎				
インダーFL	DM I	3		1	4				◎				
スコア顆水	DM I	3		1	2				◎				
トリフミン水	DM I	3		1	3				◎				
アミスター10FL	Q o I	11		1	3				◎		◎		
ストロビーDF	Q o I	11		7	3					◎		◎	
フrintトFL25	Q o I	11		1	2				◎	◎			
パスワード顆水	アミド	17		1	2				◎				
アグレプト水	抗生物質	25		30	2	◎		◎					
バリダシン液5	抗生物質	U18		3	4			◎					
マイコシールド水	抗生物質	41		21	3			◎					
スミレックス水	ジカホキシミド*	2		14	1				◎				
ロブラール水	ジカホキシミド*	2		1	3				◎				
チオノックFL	有機硫黄	M3		14	3		◎			◎			
トレノックスFL	有機硫黄	M3		14	3		◎			◎			
スターナ水	他	31		7	3	◎		◎					
ベルコートFL	他	M7		3	3				◎				
ベルコート水	他	M7		3	3				◎				
ナリアWDG	Q o I・アミド	11・7		1	2		◎		◎				◎
アグリマイシン-100水	抗生物質・抗生物質	41・25		30	2			◎					
ホームマイコート水	有機硫黄・ベンザイミダゾール	M3・1		*a	1		◎			◎			

*1:スモモ(すもも)…プラム、プルーン

*a:休眠期

スモモ

スモモ^{*1}(果樹類、落葉果樹、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用機 構分類 コード	人畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ア ブ ラ ム シ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	ス モ モ ミ ハ バ チ 類	ハ マ キ ム シ 類	シ ン ク イ ム シ 類	ケ ム シ 類	ア メ リ カ シ ロ ヒ ト リ 類	モ モ ノ ゴ マ ダ ラ ノ メ イ ガ 類	ス カ シ バ 類	キ ク イ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	
スピノエースFL	スピノシ	5		3	2														
スプレーオイル	天然物由来			*a	-		◎												
トモノールS	天然物由来			*a	-		◎												
アブロードFL	I GR	16		14	2	幼													
カネマイトFL	殺ダニ	20B		3	1														◎
サンマイト水	殺ダニ	21A	劇	14	1														◎
バロックFL	殺ダニ	10B		7	2														◎
エクシレルSE	ジアミト ^o	28		1	3					◎	◎	◎							
サムコルFL10	ジアミト ^o	28		3	3					◎	◎	◎	◎						
フェニックスFL	ジアミト ^o	28		1	2					◎	◎	◎	◎			コ			
				*c	1										コ				
ヨーバルFL	ジアミト ^o	28		1	2					◎	◎	◎							
ディアナWDG	スピノシ	5		1	2					◎	◎								
アドマイヤー顆水	ネニコチノイト ^o	4A	劇	*d	2	◎													
ダントツ溶	ネニコチノイト ^o	4A		3	3	◎	◎												ク
パリアード顆水	ネニコチノイト ^o	4A	劇	1	2	◎				◎				◎					
モスピラン顆溶	ネニコチノイト ^o	4A	劇	1	3	◎	◎		◎	◎									ク
アグロスリン水	ビレスロイト ^o	3A	劇	1	2			◎		◎									
アディオンFL	ビレスロイト ^o	3A		1	2	◎				◎									
スカウトFL	ビレスロイト ^o	3A	劇	1	3	◎				◎									
テルスターFL	ビレスロイト ^o	3A	劇	1	2					◎					◎			◎	
ベニカミキムシエアゾール ロビンフード	ビレスロイト ^o	3A		1	5														
ガットキラー乳	有機リン	1B		*b	1										コ	◎			
サイアノックス水	有機リン	1B		21	2	◎				◎									
スブラサイド水	有機リン	1B	劇	14	2					◎									ク
ダイアジノン水34	有機リン	1B	劇	21	4	◎				◎	◎		◎						
トランスフォームFL	他	4C		3	3	◎	◎												
ハチハチFL	他	21A	劇	14	2	◎													

*1: スモモ (すもも) …ブラム、ブルーン

*a: 発芽前 *b: 休眠期(落葉後～萌芽期前) *c: 開花期まで

*d: 収穫21日前まで (但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

ク: クビアカツヤカミキリ コ: コスカシバ ス: スモモヒメシンクイ

幼: 幼虫

ス
モ
モ

スモモ(果樹類、落葉果類、小粒核果類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
黒斑病		1. 病枝は切り取り処分する。 2. 防風林、防風垣を設ける。	大石早生は発病しやすいので注意する。
	4月上旬～6月下旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アグリマイシン-100(水) 1500倍 アグレプト水和剤 1000倍	
灰星病		1. 病枝は切り取り処分する。 2. 発病果実は速やかに除去する。	●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アンビルフロアブル● 1000倍 スミレックス水和剤● 1000～2000倍 ベルコートフロアブル 2000倍 ロブラール水和剤● 1000～1500倍	
ふくろみ病	発芽前	・次の薬剤のいずれかを散布する。 石灰硫黄合剤 140倍 トレノックスフロアブル 500倍	ソルダムは発病しやすいので注意する。
アブラムシ類	4月中旬～7月中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオフロアブル 1500倍 スカウトフロアブル 2000～3000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍	
カイガラムシ類	発芽前	・ ブラシ等 でかきおとす。	#幼虫での登録
	5月中旬～9月上旬	・幼虫発生期に次の薬剤を散布する。 アプロードフロアブル# 1000倍	
シンクイムシ類	5月中旬～8月上旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スカウトフロアブル 2000倍 モスピラン顆粒水溶剤 2000～4000倍 ヨーバルフロアブル 5000倍	
ハダニ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 サンマイルト水和剤 1000～1500倍 マイルトコーネフロアブル* 1000～1500倍	*小粒核果類での登録